

イエスへの愛の贈り物: 霊的な誇示を拒否する (マタイ6章)
Our Gift of Love to Jesus: Refusing Spiritual Showmanship (Matthew 6)

I. 主はキリストの体を霊的な誇示から清められます

A. 2022年1月10日、力強い預言的な夢を見、私は喜びで目を覚ました。主がキリストの体に対し、壇上での働き人、説教者、ワーシップチーム、ミニストリーリーダーたちを「霊的な見せびらかし」から清めるつもりであることを示されたのです(壇上で起こることは、広くキリストの体に蒔かれ、増殖するのです)。

B. 2022年6月28日にも3時間にわたって、霊的な誇示(見せびらかし)を拒否する夢を見せられました。「わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。」(マタイ11:29)、「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。」(ヨハネ15:9)という言葉は何度も耳にしました。その中には、自分自身に過度の注意を払うことなく、イエスを称える謙遜の文化を求めて戦うことも含まれています。

29 わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。(マタイ11:29)

C. イエスは謙遜、聖さ、偉大な親切さなど、イエスとイエスの方法を愛する成熟した花嫁のために戻って来られるのです。ですから、「イエスは教会を霊的な見せ物小屋状態から清める」と大胆に言うことができ、とても嬉しく思っています。イエスのご自分のように見える教会、つまり謙遜を愛する教会のために帰って来られるのです。

D. 前提: 最も大きく、最も壊れ、自己中心的で、ナルシストな「私世代」の若者は、歴史上のどの世代よりも、より多くの人々の目に触れ(ソーシャルメディア)、より多くの力を経験する神の器としてますます変容し、結果として10億人の魂の収穫をもたらしますが、彼らは自己に注目することを拒否し、最も謙虚でキリストを崇める世代となるでしょう。

11 その日には、あなたは、わたしに逆らったすべてのしわざのために、恥を見ることはない。そのとき、わたしは、あなたの中からおごり高ぶる者どもを取り去り、あなたはわたしの聖なる山で、二度と高ぶることはない。12 わたしは、あなたのうちに、へりくだった、寄るべのない民を残す。彼らはただ主の御名に身を避ける。(ゼパニヤ3:11-12)

II ヨセフの地下牢の幻: 謙遜についての預言的なたとえ話

A. 1984年4月、私は神の声を聞きました。「あなたにメッセージがある。ボブ・ジョーンズに電話しなさい」主の恐れが私を襲いました。同じ日にボブは私に言いました。「今日、主からの訪問を受けたので、あなたにお話しします」。彼は幻の中で、ヨセフと一緒に地下牢に入れられ献酌官とパン職人に似たたとえ話を見ました(創世記40:2-19)。ボブは、王の家族への奉仕に「毒」を入れたと非難された二人の男を見たのです。彼らは今日のミニストリーの2つのタイプを表していました。

2 それでパロは、この献酌官長と調理官長のふたりの廷臣を怒り、3 彼らを侍従長の家に拘留した。すなわちヨセフが監禁されている同じ監獄に入れた。

21 そうして、献酌官長をその献酌の役に戻したので、彼はその杯をパロの手にささげた。22 しかしパロは、ヨセフが解き明かしたように、調理官長を木につるした。

(創世記40:2-3、21-22)

B. ボブの放物線状のビジョン(創世記40章と類似)では、パン職人は殺されたが、献酌官長は回復し、王の家族にワインを提供するようになりました。主は、パン職人のパンの毒は、神の家族の中で謙遜を促進しない務めを語っていると言われました。

C. このパンは、公のミニストリーに関連して提示されるもの、つまり彼らの教え、歌、ミニストリーのスタイルなどについて語っています。あるミニストリーが人気を集めても、それが謙遜を呼び起こさないなら、やがて必ず起こる終末の揺り動かしの中で、神の国の中でその声を失うことになるでしょう。

D. 主は、キリストの体の中心に、謙遜の問題ではかり縄を落としておられるのです。主はそれを模範とすることを要求しておられるのです。神はボブに、「毒入りパン」のパン職人に代表される、他の人々に謙遜さを促進しない働きを、神のタイミングで取り除かれると言われました。

E. ミニストリーの進め方:何を教え、伝えるか、それをどのように行うか(講壇からのスタイル)、そしてなぜそのようにするのか(自分ではなくイエスにもっと注意を向けるために)。彼らのミニストリーは謙遜から流れ出るものでなければならず、また彼らが奉仕する人々の中に謙遜を生み出さなければなりません。

F. 「わたしからあなたのためにメッセージがあります。ボブ・ジョーンズに電話しなさい。」それぞれの言葉に意味があります。「わたしから」:それは神のメッセージです。「あります」:それはすでに神の心の中にあります。「メッセージ」:それは他の人を呼び出す重要な任務です。「あなたのために」:他の人が従わなくても、私はそれに従わなければなりません(このことを主張することは神への説明責任です)。

G. 主はボブに「ぶどう酒」を使ってキリストの体の中の多くの心を明らかにされることを示されました。主は「御霊のぶどう酒」を放つことによって、教会を祝福し、また謙遜さを試みられ、「杯を持つ者」を高めて、主の「ぶどう酒」に奉仕させようとされたのです。しかし、彼らは王の前で正しく奉仕しなければならず、自分たちや自分たちの働きを宣伝するような方法で「ぶどう酒を出す」ようなことがあってはならないのです。主はボブにこの祝福と試練は「10年後に始まる」と言われました。

H. この10年という期間は、少なくとも2つの点で私たちが適応することができます。1984年4月にボブがこのビジョンを受け取ってから10年後の1994年1月に、ジョン・アーノット、キャロル・アーノット、ランディ・クラークらによって、国際的な「御霊のぶどう酒」の流れがトロントで始まり、そして10年後の2009年、10周年記念の直後に、多くの人を試み、祝福するために、私たちの中に「御霊のぶどう酒」が放たれました。

I. ある人は「ぶどう酒」のように見える御霊の働きを否定し、またある人はそれを誇張します。どちらもプライドという根源から来るものです。ある人は、聖書の知識に自分のアイデンティティを求め、御言葉への深い忠誠を主張して、御霊の働きを拒絶します。ある人は、自分のアイデンティティを力に求め、他の人よりも情熱的で、油注がれ、御霊に対して敏感であると思われたいと願っています。

J. その時期から学ぶべき教訓があり、それは将来の御霊の波にとって重要なものです。御霊の現われという主題は、少なくとも4つの点で神の民の謙遜さを試みます。

グループ1: 未経験のために御霊の表れに抵抗する人は、教えられなければなりません。

グループ2: 御霊の表れを受け入れる人はそのことで非難を受け謙遜に耐えなければなりません。

グループ3: 自己に注目させるために御霊の表れを誇張する者は、謙虚でなければならない。

グループ4: 自分のミニストリーが油注がれたように見えるように、他者を操作して「表れ」を誇張する者は、悔い改めなければなりません。

K. 御霊が力を放つのは、イエスを高めるためであって、イエスを利用する者に注意を引くためではありません(ヨハネ16:14)。預言者ポール・ケインが最もよく見たビジョンは、「名もなく顔もない人々」が謙遜に導くというものでした。

14 御霊はわたしの栄光を現します。わたしのものを受けて、あなたがたに知らせるからです。(ヨハネ16:14)

21 この人たちがガリラヤのベツサイダの人であるピリポのところに来て、「先生。イエスにお目にかかりたいのですが」と言って頼んだ。(ヨハネ12:21)

L. 謙遜の文化は、神が「キリスト教の表現を変える」方法、つまり新しいぶどう酒の皮袋の一つなのです。

Ⅲ イエスは民に自分の霊性を誇示しないよう警告されました(マタイ6章)

A. 山上の垂訓の中で、イエスが最も強調した原則は、マタイ6章にあります。それは、自分の霊性を誇示し、誇張することに対してで、神への情熱と聖霊による油注ぎがあるように他人に見せたいという心の強い衝動を克服することです。

B. マタイ6章で、イエスは、奉仕、寄付(慈善行為、6:1-4、19-21)、祈り(6:5-13)、断食(6:16-18)のときに、人が自分の霊性をアピールするために誘惑される4つの活動について語られました。

4 あなたの施しが隠れているためです。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。(マタイ6:4)

6 あなたは、祈るときには自分の奥まった部屋に入りなさい。そして、戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます(マタイ6:6)

18 それは、断食していることが、人には見られないで、隠れた所におられるあなたの父に見られるためです。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が報いてくださいます。(マタイ6:18)

C. イエスは私たちに、ラツパを鳴らしたり、神への献身に注意を引いたりしないようにと呼びかけました。イエスは、私たちがいかに献身的で、情熱的で、油注がれ、賢く、勤勉で、寛大であるかを注目させるためにラツパを鳴らそうとする自然な誘惑に対処されました。今日、これは「徳の象徴」と呼ばれています。

1 人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から、報いが受けられません。2 だから、施しをするときには、人にほめられたくて会堂や通りで施しをする偽善者たちのように、自分の前でラッパを吹いてはいけません。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。3 あなたは、施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。4 あなたの施しが隠れているためです。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。5 また、祈るときには、偽善者たちのようであってはいけません。彼らは、人に見られたくて会堂や通りの四つ角に立って祈るのが好きだからです。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。(マタイ6:1-5)

D. パウロは、神の目の前に生きることと、人の目の前に生きること、つまり、神と人の喝采を求めて生きingことを対比させました。これは、自分がいかに情熱的であるか、勤勉であるか、献身的であるか、油そそがれているかということ、特に人が見ているときに意図的に誇張してアピールし、人から認められようとする奉仕や宣教のことを語っています。

6 人のごきげんとりのような、うわべだけの仕え方でなく、キリストのしもべとして、心から神のみこころを行い、7 人にではなく、主に仕えるように、善意をもって仕えなさい。8 良いことを行えば、奴隷であっても自由人であっても、それぞれその報いを主からうけることをあなたがたは知っています。(エペ 6:6-8)

E. パウロは「イエスを宣べ伝える」ことに熱心で、自分自身に注目させて「自分を宣べ伝える」ことはしませんでした。

5 私たちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、主なるキリスト・イエスを宣べ伝えます。私たち自身は、イエスのために、あなたがたに仕えるしもべなのです。(2コリント4:5)

F. パウロは、より優れたものを、互いに愛し合い、教育することと結びつけています。

31 あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。また私は、さらにまさる道を示してあげましょう。(1コリント12:31)

12 あなたがたの場合も同様です。あなたがたは御霊の賜物を熱心に求めているのですから、教会の徳を高めるために、それが豊かに与えられるよう、熱心に求めなさい。(1コリント14:12)

私は祈っています。あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり...(ピリピ 1:9)

G. 私たちは、神から自由に受け取ることによって、信仰において子供らしくあるべきですが(マタイ 18:3)、子供が自然にするように、自分自身に注意を向けることによって、幼稚な考え方をしてはいけません(1コリント14:20)。

3 言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、入れません。」(マタイ18:3)

20 兄弟たち。物の考え方において子どもであってはなりません。悪事においては幼子でありなさい。しかし考え方においてはおとなになりなさい。(1コリント14:20)

IV 誇示する事:癒しのリバイバル、エルヴィス、そして世俗的な音楽産業

A. 1950年代の「癒しのリバイバル」で活躍した伝道師たちは、靈的に誇示する事を新たな次元に引き上げました。エルヴィスは、彼らの派手なスタイルや壇上での道化ぶりを真似たと言われています。エルビスの人気で世俗の音楽業界は、エルヴィスの派手な「エアロビックステージ文化」を模倣したと言われています。

B. 20年ほど前、著名なワーシップリーダーたちが、華やかな世俗音楽業界の「エアロビックステージ文化」を真似しはじめました。

C. 今、多くの10代クリスチャンは、エルヴィスのような派手なステージを持つ著名なワーシップリーダーのように、自分の情熱と油注ぎを披露して人気を得るものだと思っています。

D. 欧米ワーシップ音楽文化の中には、ダビデ王よりもナッシュビル音楽業界の影響を受けているものがあると言う人もいます。ある若いワーシップリーダーにとって、成功とはレコード契約し、お金を儲けることです。そして、契約して、ヒット曲を出し、有名になり、信念が緩み、誰にも触れられず、正されることのない有名人として、秘密の罪深い生活を始めるという流れです。

E. 私は羊飼いとて、若者の偉大さと靈的な安全のために戦っています。よくあるのは、数年間「人気者」になった後、神の力が明らかに現れていなくても、ステージ上での見せびらかした態度や派手さを増していくことです。彼らは情熱的でパワフルであることで知られているというアイデンティティを確立しているので、自分がまだ力を持っていると証明するために、大きな身振り手振りや高揚感に頼ることになるのです。これは、御霊が動いていると主張しながら、実際には肉でそれを作り出しているため、神の御名をみだりに使うこととなります。

F. あるワーシップムーブメントは、世俗的な音楽業界からヒントを得ています。しかし誰も注意を向けようとしない、御座の周りの礼拝(黙示録4章)からヒントを得るのが最善のはずです。多くの祈りの家は、私たちからヒントを得ています。ですから、私たちは彼らに対して、この分野で謙遜と卓越の精神を維持するための励ましとなれるよう励んでいます。

G. 私たちは、大勢の観客がいるステージでも、数人の観客がいるときと同じように行動することで、預言的な発言をしていることになるのです。私たちは、イエスに仕えることに集中するので、変わりません。照明が明るい大きな集まりでは、私たちは祈りの部屋でリードするのと同じように、ステージでもリードします。

H. 私たちの自由に対する捉え方が、御霊の豊かさにどれだけ自分を明け渡せるかを決定します。

17 主は御霊であり、主の御霊のあるところに自由があります。(2コリント3:17)

1. 汚れた良心からの解放:神の愛情を受け、恥じのない確信をもって解放されること。神の願いは、イエスが十字架上でくださったことのゆえに、私たちが神の前で清く、自信を持つことです。私たちの自信は、私たちの成熟度ではなく、十字架にあるのです。

2. 罪深い行動や暗くなった感情からの解放:感情の束縛から解放され、神と人への愛で満たされた心を持つようになる。したがって、困難な人々を愛することができ、罪、暗い感情、霊的な鈍さ、不信仰、利己主義などから解放されるのです。

V 自己表現の心理学:相反する2つの視点

A. ある人は、自己表現が最優先です。しかし、それはイエスを賛美すること、聖書を尊重すること、他の人々に奉仕することなど、他の優先順位に従わなければなりません。自己表現は、自分の考えや感情をイエスと一致させて生きている人から流れ出たとき、最も有用なものです。

B. 自己表現には、さまざまな形態があります。言葉、表情、ボディランゲージ、服装、行動など、人はさまざまな形で自己表現をしています。自己表現については、最近ポップサイエンスの分野で相反する理論が登場しています。自己表現に置かれる価値は、文化によって大きく異なります。

1. 西洋文化は完全な自己表現に加え、自分に利益をもたらし、気分を良くし、より注目されるように行動する権利意識を持った個人主義を重んじます。西洋の心理学では、自己表現は健全であり、充足感を得るために必要なものであると考えられています。
2. 東洋文化は個人主義的な考え方が少なく、共同体のためになることを高く評価します。自己表現が強すぎるのは「利己主義や社会資本の弱さを示している」と解釈しているのです。東洋文化は個人の自己表現をあまり重要視せず、逸脱した行動とみなすことさえあるのです。この自己表現への過度なこだわりを利己的と捉える人も多いでしょう。

C. 賛美チームが卓越した精神を追求するときに、多くの益が共に作用して働きます:

1. 人々をイエス様のもとに引き寄せることによって、イエスを賛美すること(ヨハネ16:13-14)
2. 壇上で起こるすべてのことは、神のみ言葉を尊ぶため(ヨハネ16:13-14)
3. 祈りの部屋や礼拝にいる人々を励ますこと(1コリント14:4-6、12、26、28)
4. チーム内の他の人を尊ぶために個人を抑える必要を学ぶこと
5. 共に流れることのできる巧みな歌い手や音楽家を育てること(ヨハネ16:7)
6. 私たちの価値観を示し、教えることによって、若い歌い手や音楽家を育成する
7. 個人的な表現もさることながら、キリストを表現し、他人を祝福することにより高い価値を置くこと

D. イエスは弟子たちに自分を捨てるように教えられました。多くの人は、自分が暗い考えや感情に苦しんでいることを自由に認めますが、その苦しみと、自分自身の完全な自己表現がキリストを表現するものでも、他の人を助けるものでもないという事実を結びつけて考えることはしません。私が様々な制約を受けずに自由に自分を表現するとき、ある人間関係は邪魔されるかもしれません。

24 それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい(マタイ16:24)

E. デイビット・ハデンのブログは、私たちが追求していることの一部を表現しています。彼はイギリスにおけるワーシップ・ムーブメントの主なパイオニアの一人と考えられています。彼はこう書いています。ワーシップリーダーたちよ、私たちはパフォーマンス主義を見極め、できるうちに殺さなければな

りません。難しいことではないです。人々が知っている(または簡単に学ぶことができる)歌を歌いましょう。それらを会衆のキーで歌いましょう。神の力、栄光、救いを歌い、祝福しなさい。あなたの信徒に仕えなさい。神の御言葉で彼らを酔わせなさい。大きなスクリーンから顔を離しましょう。オリジナル曲の使用は極度に控えめに。できるだけ多くの人を巻き込むようにしましょう。ワーシップをリードする時、あまりしゃべらないようにしましょう。ループやライト、ビジュアルがあなたの創造性のはけ口となり、福音の中心を犠牲にしないようにしましょう。イエスを指し示すこと。自分自身に注意を向けないようにしましょう。ひどい歌詞や曖昧な神学の歌を歌わないようにしましょう。牧会的に導きましょう。デービッド・ハデン

VI 卓越した歩みを求めて: 私たちがイエスに捧げる愛の贈り物

A. 私たちはチームに対して、自分自身をどのように表現するかについて「本物」であることを求めます。日頃、イエスと二人っきりでやらないことを公でしないことです。ある人は、ステージ上では、誰もいない部屋やイエスと二人きりになったときとは違った霊的な表現をします。

B. これらの考えに初めて触れる人は、これらの価値観をどのように進めるか学ぶ時間が必要かもしれません。イエスは、個人的にそれを整理するために必要な葛藤の価値があります。迷ったら、謙虚になりましょう。

C. 私たちは、教師、ミニストリーリーダー、歌手、演奏者が、過度な動きや、本物ではない御霊の現れを真似たり、不必要に注目を集めるような声や身体表現をしないよう励ましています。

D. 公の場でのミニストリーのスタイルは、イエスが私たちの集まりの中で注目の的となるためには逆効果となることがあります。個人はしばしば、他の人と区別するために、個人的な「特徴的な自己表現」を身につけます。これは、エンターテインメントの世界ではよくあることです。

E. ある人は手や腕を振って天国へのヤコブの梯子を上り、ある人は手で霊的な闇の鎖を断ち、ある人は霊の剣をサタンに対して振り、ある人は神の川で泳ぐことを象徴して泳ぐ動作をし、ある人はさらに他の人の霊をすくい、霊で天国の扉をたたき、さらにある人はイエスと共に霊界を飛びながら腕をばたばたさせます。ある人は頭を前後に振って聖霊の恍惚感を表現し、これらは自分がいかにイエスと聖霊に熱中しているかを示す方法のいくつかです。

F. 私は聖霊の管轄権を持たない他のミニストリーの動機や方法について何の意見も持ちません。私は自分の霊的管轄下にあるミニストリーの領域(祈りの部屋、週末礼拝、カンファレンス、教室、伝道旅行、ソーシャルメディアなど)で起こることのみ責任があります。

1. IHOPカンザスシティーを出た人が何をするかは、私の責任ではありません。それはその人たちとイエスとの間のことです。しかし、謙虚さの美しさを彼らの心に刻む機会を持てたことは幸せです。
2. 神の恵みによって、私たちは最後の日にイエスにこの贈り物を捧げたいと思います。それは、人々の注意を自分ではなくイエスにだけ向ける謙遜の文化を受け入れることを求める人々の共同体を、私たちが共に立ち上げるのを助けたということです。

G. 私は、この謙遜と卓越の霊を私たちのミニストリーで求めて戦う時、主の喜びを感じます。

H. バプテスマのヨハネは、自らを「花婿の友」と表現し、自分への注目度を下げることによって、イエスが強調される存在となるように努めたのです。花婿の友とは、結婚式のベストマンのようなもので、花嫁が花婿に注目するようにと願う人です。ベストマンは花嫁の愛情を自分のものにしようとはしません。

29 花嫁を迎える者は花婿です。そこにおいて、花婿のことばに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それで、私もその喜びで満たされているのです。30 あの方は盛んになり私は衰えなければなりません。(ヨハネ3:29-30)